

主要事業個別シート(第2次実施計画／H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	19058	森林環境創造事業	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	04:自然との共生	款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全	項目	01:農林水産業費
	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目	06:林業振興費
事業予定期間 H 14 ～ H - 年度 主な根拠法令要綱等 森林環境創造事業実施要領				

② 目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者、市民
	目的	環境林については、森林の持つ公益的機能の向上を図る森林であり、針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行う。
概要	概要	森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた環境林に対し、間伐や植栽などの管理を継続的に行うことにより、公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)を効果的に発揮する針広混交林の森林づくりを行うものである。

③ 年度別事業計画 事業の計画	平成27年度			平成28年度		
	環境林 間伐面積 91ha			環境林 間伐面積 118ha		
	計画額	事業費	17,000千円	20,300千円		
		国庫支出金	7,860千円	8,980千円		
		県支出金	6,440千円	7,920千円		
		地方債				
		その他				
		一般財源	2,700千円	3,400千円		
	予算額	事業費	13,478千円	20,000千円		
		国庫支出金	4,250千円	2,500千円		
		県支出金	7,382千円	14,400千円		
		地方債				
		その他				
		一般財源	1,846千円	3,100千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		37,300千円	期間外事業費(H29以降)②	－	総事業費 (①+②)	－

④ 指標				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
	①	名称	環境林整備の年間実施面積	計画値	91	118
		補足	各年度の間伐等の森林整備面積			
	②	名称	環境林整備の認定面積	計画値	800	820
		補足	各年度の環境林整備計画認定面積の累計			
	③	名称		計画値		
		補足				
	④	名称		計画値		
		補足				
				単位	ha	ha
				単位	ha	ha

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名		部名	環境産業部
	19058	森林環境創造事業		室名	森林林業室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造		財 会計	01:一般会計
	基本施策	04:自然との共生		務 款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全		科 項	01:農林水産業費
体系	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト		目 目	06:林業振興費

②目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者、市民			
	目的	環境林については、森林の持つ公益的機能の向上を図る森林であり、針葉樹と広葉樹の混交林への誘導を行う。			
	概要	森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた環境林に対し、間伐や植栽などの管理を継続的に行うことにより、公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)を効果的に発揮する針広混交林の森林づくりを行うものである。			

			27年度	28年度		
③指標	①	名称	環境林整備の年間実施面積	計画値	91	118
		補足	各年度の間伐等の森林整備面積	実績値	80.67	
				単位	ha	ha
	②	名称	環境林整備の認定面積	計画値	800	810
		補足	各年度の環境林整備計画認定面積の累計	実績値	793.54	
				単位	ha	ha
	③	名称		計画値		
		補足		実績値		
				単位		
	④	名称		計画値		
補足			実績値			
			単位			

年度計画					年度実績		
④事業の計画・実績	環境林 間伐面積 91ha				○環境林整備事業 間伐実施面積 3地区 15.14ha ○森林環境創造事業(交付金) 間伐実施面積 4地区 52.78ha ○森林環境創造事業(県単) 間伐実施面積 2地区 12.75ha 計 80.67ha		
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	2,275	
		17,000	13,478	13,390	一般職員人件費 ②	2,275	平均給与額×③
		国庫支出金	7,860	4,250	所要人員 ③	0.30	
		県支出金	6,440	7,382	臨時職員人件費 ④	0	
		地方債		0	受益者負担額 ⑤		
		その他		0	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源	2,700	1,846			
	再	翌年度への繰越額					
	掲	前年度からの繰越額		0			
	総人件費				①	2,275	
	総コスト				⑥	15,665	

⑤事業の評価	【事業の成果】		総合判定 B まずまず進んだ
	平成27年度は、5認定地区80.67haにおいて環境林整備(間伐等)を行った。 平成14年度からの事業累計は1,186.81haとなり、森林の持つ公益機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)の発揮に寄与することができた。		
	【反省点・課題】		
	環境林整備計画の認定面積は、13地区793.54haで市内の環境林約6,000haの約13%となっており、森林の持つ公益的機能の向上を図るためには、区域の拡大を図る必要がある。 また、環境林整備に対する国・県の補助金が減額され、計画どおりの進捗が見込めない状況にある。		
	【改善の方向性】		
	認定林業事業体とともに、環境林の森林所有者に事業の必要性の理解を求め、事業認定地区の拡大に向けて、引き続き拡大可能地区への働きかけを行う。 また、事業の進捗を図るため、国・県に対し予算確保を要望するとともに、事業実施にあたっては、従来の森林環境創造事業(国交付金・県単)と同種の環境林整備事業(国補)を併用し実施する。		
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博